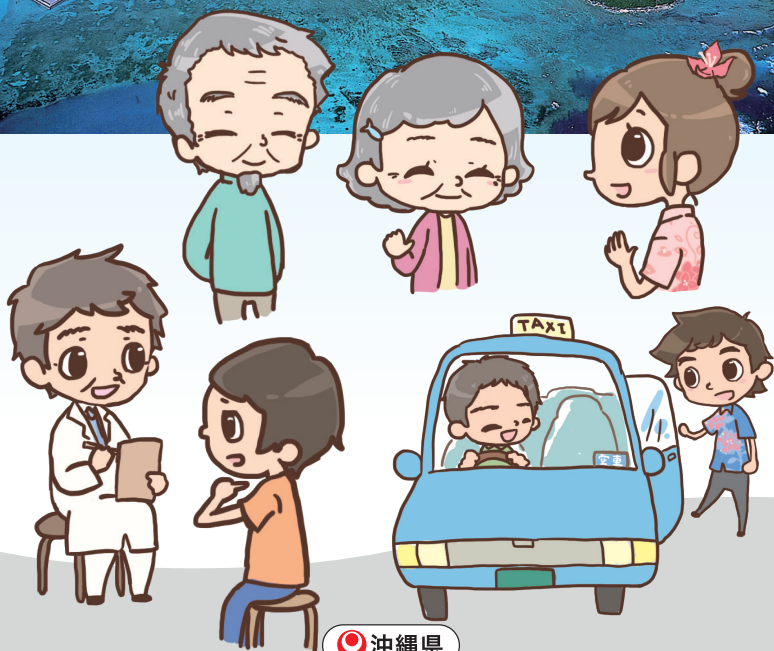


語ろう 使おう しまくとうば

かたらな ちからな しまくとうば

はなりくとうば(宮城島ことば)



は じ め に

はいさい、ぐすーよー ちゅーうがなびら。しまくとうば かなさっし、いちまでいん ぬくする たみに ちがきてい くいよーち にへー やゝえーん。ぶるし ちばてい いちゃびらな (ハイサイ、皆さんごきげんいかがですか。しまくとうばを大切にし、いつまでも残すために お励み下さり有難うございます。みんなで頑張っていきましょう)。

沖縄ほど数多くの種類のことばを持っている地域はありません。村が違えばことばも違います。そのことばの違いは村の個性を形作る重要な要素で、しまくとうばの豊富さは沖縄の文化の豊かさにつながっています。村々の個性豊かな文化を大切に、次代に受け継いでいくためにも、しまくとうばを大切にしていかななくてはなりません。

沖縄県しまくとうば普及センターではそのために、沖縄各地のしまくとうばの学習のために、簡便なハンドブックを作りました。日常生活のいろいろな場面で使われるしまくとうばについて、この本をとおして接していただきたいと思います。もちろんこの小さな本は、しまくとうばの豊かな世界に入るための入り口にすぎません。皆さんがそれぞれの村々のしまくとうばに興味を持ち、それを身につけていけるその第一歩として、本書をご活用下さいますことをご期待申し上げます。

2021 年 3 月 27 日

沖縄県しまくとうば普及センター
センター長 はてるま えいきち
波照間永吉

語ろう 使おう しまくとうば

かたらな ちからな しまくとうば

はなりくとうば(宮城島ことば)



本書を利用するにあたって

本書『**かたらな** **ちからな** **しまくとうば**』は、宮城島ことばの話者、根保幸徳さん（うるまし市与那城宮城出身）を中心に、大屋良英さん（上原出身）、大屋芳夫さん（上原出身）、豊永栄子さん（宮城出身）の協力を得て作成しました。宮城島ことば（**はなりくとうば**）は、宮城島の上原（**いーばる**）、宮城（**なーぐすく**）、池味（**いちみ**）の3集落のしまくとうばを意味します。

「しまくとうば」の表記は、カタカナやローマ字、おんせい音声記号きごうで表すなど、いろいろな方法があります。本書では、県民の皆様が日ごろから親しんでいる平仮名を用いています。

しかし、「しまくとうば」で言い表すことが難しく、共通語をそのまま使っていることばに関しては、漢字やカタカナを用いて表記している箇所もあります。

また、「しまくとうば」には、一つのひらがなやカタカナでは書き表すことのできない音があります。それを表すために、特別な表記を使っている語もあります。

この本を読む前に、右頁にある「特別な表記について」の説明を読んで、ご理解いただきますようお願い致します。

特別な表記について

本書を活用する際、「**つわ**」や「**いえ**」など、日ごろ目にすることのない表記があることに気がつくと思います。これらの表記について、ここで説明します。

①^{のど}咽喉に力を入れて発音する音（せいもんへいさおん声門閉鎖音）

発音の出だしに、^{のど}咽喉に力を入れて発する音を声門閉鎖音といいます。この音は日本語の共通語には普通みられない音なので、かな文字がありません。ですから、かな文字を2字組み合わせ、左上に小さな「つ」を添えて書き表しました。例えば、宮城島ことばの「**わー**」は「私」の意味になりますが、のどに力を入れて発する「**つわー**」は、「豚」の意味になります。この音はなかなか発音しづらいのですが、「う」と「わ」を区切って発音し、それを次第にちぢめていくと似た音を発音できるようになるでしょう。

②やわらかい発音ではじまる音がある（ゆるやかな声立て）

①の「のどに力を入れて発音する音」とは真逆のような音で、出だしに全く力を入れずに発音するのが、この音の特徴です。本書では、この音を表すために左上に小さな「い」や「う」を添えて「**いえ**」や「**うう**」で表記することにしました。

例えば「夫」は「**ううとう**」、「縁（えん）」は「**いいん**」となります。通常の出だしの発音の「**うとう**」は「音」の意味になり、「**いん**」は「犬」の意味になるため、出だしをやわらかく発音しないと、通じないことになります。

この音の特徴は、通常の1音の長さより、ほんの少しだけ長め（1.2～1.3倍ぐらい）の音であることです。また、「**いい**」のときには唇を平たくしてあまり開けずに、「**うう**」のときには唇を丸めて少し突き出すようにすると上手に発音できるようになります。

「良い天気ですね」の「**いいー** **つわーちち** **やいえーん** **やー**」の語頭の「**いいー**」（良い）や、「**～やいえんやー**」（～ですね）の「**いえ**」などの出だしにも、この音があります。ただし、「**～やえんやー**」のように「**いえ**」は、話者によって「**え**」と発音されることもあります。

③伸ばす音は「ー」で！

母音が伸びるとき、音を区切って発音することはありません。例えば「獅子」を意味する「**しーさー**」は、通常の発音では「し」「い」「さ」「あ」と区切って発音することはありません。「**しー**」と「**さー**」は区切ることができますが、「**しー**」は区切ることができないため、本書では「**しー**」と表記することにします。

④半角スペースについて

「だ」「です」にあたる「**やん**」「**やいえ（ー）ん**、**いえ（ー）ん**」「する」にあたる「**すん**」（ただし、複合動詞のみ）が、前の要素に付く場合には、見やすさを考慮して、半角分のスペースを空けました。

⑤はなりくとうば（宮城島ことば）の特徴について

宮城島ことばは、沖縄島中南部と北部の言葉の特徴をあわせ持つ言葉で、いくつか他の地域とは異なる特徴が

あります。

ひとつは、「つ」「ちゅ」が「サ行」で発音されることがあります。例えば、多くの沖縄島中南部で「**ちゅーや**（きょうは）」、「**ちら**（顔）」と発音される語が、「**すーや**（きょうは）」、「**しら**（顔）」のようになります。「**ちゅーさん**（美しい）」も「**すらはん**」となります。

二つ目は、サ行音の「さ」が「は」、「し」が「ひ」になる変化が見られます。例えば、多くの沖縄島中南部でみられる「**さち**（先）」、「**まーさん**（美味しい）」、「**しちゃ**（下）」と発音される語は、「**はち**（先）」、「**まーはん**（美味しい）」、「**ひちゃ**（下）」となります。

他にも、他の地域ではあまり使われることがない「**あごーりば**（お召し上がりください）」や、「**つわーよーりば**（いらっしゃいませ）」など、特徴的なことばもあります。

1, 挨拶ことば……………8

- ◆朝起きたとき (8)
- ◆ごはんを食べるとき (9)
- ◆出かけるとき (9)
- ◆外で友人に出会ったとき (10)
- ◆(午後の時間帯で) 外で知人に出会ったとき (10)
- ◆仕事場から帰るときの挨拶 (11)



- ◆夕方・夜の挨拶 (12)
- ◆初対面のときの挨拶 (12)
- ◆二回目以降のときの挨拶 (13)
- ◆その他の挨拶 (14)
- ◆大晦日・正月の挨拶 (15)



2, 自己紹介……………16

- ◆自己紹介 (16)
- ◆家族を紹介します (17)



3, 身体用語……………18

- ◆身体を表すことば (18)
- ◆身体に関連することば (20)



4, お祝いや行事で使えるしまくとうば……………22

- ◆お祝いのことば (22)

- ◆「おめでとうございます」を表現することば (23)

- ◆行事の際に使うことば (24)

5, 拝みのときに使うしまくとうば……………26

- ◆祈願することば (26)
- ◆まじないことば (27)



6, 病院での会話……………28

- ◆診察のときの受け答え 1 (28)
- ◆診察のときの受け答え 2 (31)

7, その他……………34

- ◆食事のときに使うことば (34)
- ◆食味をあらわすことば (35)
- ◆問かけのことば (35)



8, ことわざ……………38

9, タクシー運転手との会話……………40

- ◆宮城島でタクシーに乗る (40)



10, 地域の特徴……………42

- ◆沖縄県の様子 (42)
- ◆宮城島の特徴 (44)
- ◆観光案内 (45)

「高離節」歌碑／ヤンガー
／宮城ウシデーク



1, 日常的な挨拶

挨拶ことば (えーさち くとうば)

◆朝起きたとき

- ・もうお目覚めですか? (今、起きたの?)

なー うきよーちな? (なま、うきていな?)

- ・今、起きたよ。

なまる うきたんどー!

なまる うきたんどー。

- ・早く起きてください。もう朝ですよ。

へーく うきよーりば。なっ あさ やいえーんどー。

- ・早く起きなさい。もう朝だよ。

へーく うきれー。なっ あさやしが。

- ・朝になりましたよ。起きてください。(目上の人に対して)

あさ なとーいえーんどー。うきよーりば。

- ・朝だよ。起きなさい。(子どもや目下に対して)

あさ やしが。うきれー。

- ・朝ごはんは召し上がりましたか? (食べた?)

ひていみていむん あごーちな? (かていな?)

- ・朝ごはん召し上がれ (食べなさい)。

ひていみていむん あごーりば (あごーれー・かめー)。

※沖縄には共通語にあるような「おはようございます」や「おはよう」にあたる挨拶ことばはありません。「こんにちは」や「こんばんは」も同じです。

◆ごはんを食べるとき

- ・お召しあがりください。

あごーりば。

- ・さあ、いっしょに食べましょう (食べよう)。

でいー まずーん (まん) あごーら (かま)。

- ・いただきます。

くわっちー さびら。

- ・ごちそうさま。

くわっちー さびら!

くわっちー さびたん。

- ・とってもおいしい (おいしかった)。

じこー (さっこー) まーはん (まーはーたん)。

※まーはん = おいしい

◆出かけるとき

- ・行ってきます。(目上の人に対して)

いじ ちゃーびら。

- ・行ってくるよ。(同年や目下に対して)

いじ すーんどー。

- ・気をつけて行ってらっしゃい。(夫や目上の人に対して)

きー ちきてい いじ づわーりば。

- ・気をつけて行きなさい。(子供や目下の人に対して)

きー ちきてい いきよー。

あごーりば。



いじ ちゃーびら。



◆外で友人に出会ったとき

- ・きょうは、良い天気ですね（だね）。

すーや、^いー ^わーちち ^やえーんやー。（目上に対して）

すーや、^いー ^わーちち やさやー。（目下に対して）

- ・きょうは、早起きですね（早起きだね）。

すーや、へーく うきよーちえーんでーやー。

すーや、へーく うきてーんでーやー。（目下に対して）

- ・どちらへお出かけですか？（目上の人に対して）

まーんかい ^わーえーが？

- ・（君は）どこへ行くんだい？

まーんかい いつが？

- ・用事にでも行ってきたのですか？（行ってきたの？）

ゆーず しーがる いじ ^わーちな？（目上の人に）

ゆーずる ひち きちゃんな？（同年や目下に人に対して）

◆（午後の時間帯に）外で知人に出会ったとき

- ・こんにちは。

はいさい。（男女の区別はなく、目上の人に対して）

はい。 ^いえー。（友達や目下の人に対して）



※この言葉は、普段から挨拶のことばとして使います。目上の人に対しては男女ともに「はいさい」を使います。地域によって、男性は「はいさい」、女性は「はいたい」となる場合もあります。

◆仕事場から帰るときの挨拶

- ・気をつけてお帰りくださいね（帰ってね）。

きー ちきてい けーよーりば。

きー ちきてい けーりよー（けーれー）。

- ・また明日ですね（明日ね）。

また あちゃやーさい。

また あちゃやー。（目下に対して）

- ・さあ、一緒に帰りましょう。（目上の人に）

でいー、まづーん（まんな） けーよーらんな。

- ・さあ、一緒に帰ろう。（同年や目下に）

でいー、まづーん（まんな） けーら（やー）。

- ・さあ、疲れを癒し（遊び）に行きませんか（行こう）。

でいー、あしびーが いちゃびらんな。

でいー、あしびーが いかな。

- ・さあ、どこかに行きませんか？

でいー、まーがらんかい いちゃびらんな？

- ・そうですね（そうだね）。

あん ^やえーんでーやー。（目上に対して）

あん やさやー。（同年や目下に対して）

- ・どこへ行こうか？

まーんかい いつが？



◆夕方・夜の挨拶

- ・ただいま（今帰ったよ）。

なまる けーたんどー。（同年や目下の人に対して）

- ・今帰ったの？ 疲れてないですか？（疲れてない？）

なまる けーよーちな？ いいたてー ねーよーらん？

なまる けーていな？ いいたてー ねーんな？（目下に）

- ・もう遅いので、寝ますね（寝るね）。

なっ にーか なんとーくとう にんぞーらやー（にんだやー）。

- ・おやすみなさい。（「もう寝るね。」寝る人の言葉）

なっ にんずんどー。

- ・おやすみなさい。（「もう、おやすみください。」返す人の言葉）

ゆくよーりば。（丁寧な言い方）

なっ にんでー（にんていよー）。（子どもや目下に対して）

◆初対面のときの挨拶

- ・初めまして（初めてだね）。



はじみてい やいえーんやー。（目上に対して）

はじみていやー。（同年や年下の人に対して）

- ・初めまして、お見知りおきください。（「よろしく願います」と同じ意味。）

はじみてい やいえーんやー、みーしっち とうらそーり。

◆二回目以降のときの挨拶

- ・お元気でしたか？（元気だった？）

かなとーいえーていー？（かなとーていー？）

がんずー やいえーてい？（がんずー やてい？）

- ・お久しぶりですね（久しぶりだね）。（「長く会わなかったね（会いませんでしたね）」の意）

なげー いちゃよーらんたんやー。（丁寧な言い方）

なげー いちゃらんたんやー（みーずーはぬやー）。

- ・長く会わなかったけど、元気だった？

なげー いちゃらんたしが、かなとーていー？

- ・今日も暑いですね（暑いね）。

すーん あちはーいえーんやー（あちはんやー）。

- ・そうですね（そうだね）、毎日暑いですね。

あん やいえーんや、めーにち あちはーいえーんやー。

あん やさ、めーにち あちはーいえーんやー。

- ・きょうは寒いですね（寒いね）。

すーや ひーはいえーんやー。（丁寧な言い方）

すーや ひーはんやー。

ひーはん！

- ・寒くなりましたね（寒くなってるね）。

ひーく なんとーいえーんやー。（丁寧な言い方）

ひーく なんとーんやー。



◆その他の挨拶

- ・ありがとうございます（ありがとう）。

にへー やいえーんどー（にへーどー）。

- ・ありがとうございました。

にへー やいえーたんどー。

- ・ごめんなさい（悪かった）。

わっさーいえーたん（わっさーたん）。

- ・急に踏んでしまった。許してちょうだい。

あつたに くだみたん。ゆるち とうらし。

- ・失礼します（失礼しました）。

ゆるち とうらし！

ぐぶリー さびら（ぐぶリー さびたん）。

- ・ごめんください。

ちゃーびらさい。（丁寧な言い方） ちゃーびら。

- ・いらっしやいませ（おいで。来なさい）。

ㇿわーよーりば（くーば）。

- ・いらっしやる

ㇿわーゆん。

- ・先生がいらっしやいますよ。

しんしーが ㇿわーゆんどー。

- ・いらっしやいませ。お上がりください。

ㇿわーよーり。ㇿわーびんかい あがよーりば。



- ・いらっしやい。お茶を召し上がってください。

ㇿわーよーり。さーん あごーりば。

◆大晦日・正月の挨拶

- ・明日は大晦日です。

あちゃー とうしん ゆるーいえーんどー。

- ・きょうの大晦日の日は、豚肉を供えますので、受け取ってくださいね。

すーぬ とうしぬ ゆるや、ㇿわーん しし うさぎてーくとう、うきとうてい くいよーりよー。

- ・（正月の挨拶）良いお正月ですね。

いいー しょーぐわち やいえーんやー。（丁寧な言い方）

いいー しょーぐわち いえーんやー。（同年や目下に対して）

- ・良いお正月になりましたね。

いいー しょーぐわち なよーちゃんやー。（丁寧な言い方）

いいー しょーぐわち なたんやー。（同年や年下に対して）

- ・今年もよろしくお願い致します。

くとうしん（くんどうん） うにげー さびら。

くとうしん うにげーやー。（目下に対して）

※去年＝くず（くどう） 来年＝いいい

- ・年頭のあさいつをします。

にんとうーぬ いえーさち さびら。





2, 自己紹介

◆自己紹介

- ・こんにちは、私は根保幸徳です。



はいさい、わのー ねほ こうとくんでい いちよー
いえーん。

わのー、ねほ こうとくんでい いちよーん。(同年や
目下の人に対して)

- ・こんにちは、私は根保と申します。(よろしく) 願ひ
します。

はいさい、わのー ねほんでい いちよーいえーん。
(ゆたしく) うにげー さびら。

- ・私は根保家の幸徳と言ひます。

わのー にぶやーぬ こうとくんでい いちよー
いえーん

- ・私の名前は幸徳です。学校の教師をしていました。

わー なーや こうとくんでい いちよーいえーん。
がっこーぬ しんしー そーやびたん。

- ・うるま市与那城、宮城の生まれです。

うるま市 よなしろ、なーぐすくぬ んまり やいえーん。

- ・相撲観戦が趣味です。

しま んずしが しち やいえーん。

◆家族を紹介しす

- ・私たちの家族を紹介しす。祖父の一郎、祖母の富子、
父の次郎、母の直美、妹の一枝です。

わったー やーぐなー ひるー さびら。はーふじーぬ
いちろー、いーなぐ はーふじーぬ とみこー、ちゃー
ちゃーぬ じろー、あんまーぬ なおみ、いーなぐ うっ
とうぬ かずえ やいえーん。

祖父(いーきが はーふじー・んっぶー・んぶずー・うすめー)

祖母(いーなぐ はーふじー・ぱーぱー・はーめー)



父(ちゃーちゃー・いーきがん うや)



母(あんまー・いーなぐん うや)



私(わん)

妹(いーなぐ うっとう)



曾祖父(うー んぶずー・うー うすめー)

曾祖母(うー ぱーぱー) 姉(あなー・いーなぐ しーざ)

姉妹(いーなぐ ちょーでー) 兄(やっかー、やかー)

兄弟(ちょーでー・いーきが ちょーでー) 弟(うっとう)

年上(とうし しーざ) 年下(とうし うっとう) 男(いーきが)

女(いーなぐ) 赤ちゃん(あかんぐわ・つくわぐわ) 孫(づんまが)

親より年上のおじ(うざさー・うんつー)

親より年下のおじ(うざさー・うんつぐわー)

親より年上のおば(うばまー)

親より年下のおば(うばまー・うばまーぐわー)



3, 身体用語

◆身体を表すことば (からだ あらわする ことば)

～頭から足先までのしまくとうば～

からじ・かーらじ (髪)

まちぎ (まつ毛)

みーみ (耳)

はー (歯)

しば (舌)

かくじ (顎)

ちぶる (頭)

みー (目)

しら (顔)

つわーしば (上唇)

ひちゃしば (下唇)

ひちえー (額)

みーまる (まゆ)

はな (鼻)

くち (口)

ひじ (ひげ)

しじ (頭のとっぺん)

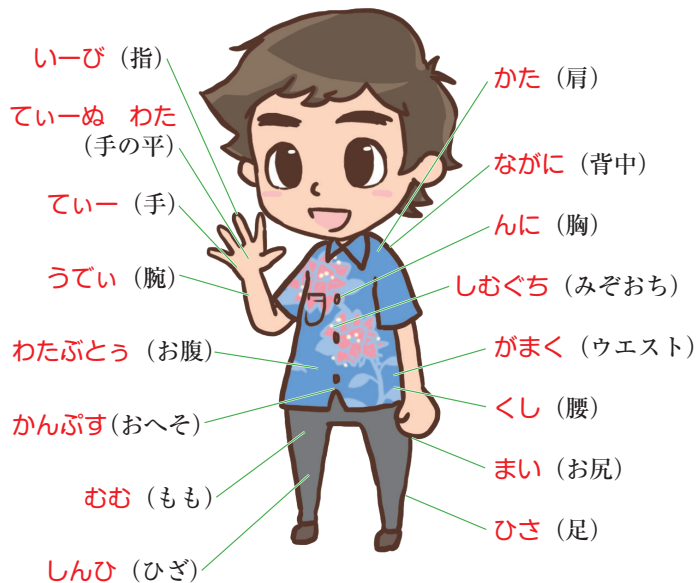
くみかん
(こめかみ)

くび (首)

ぬでいー (喉)

ひざい (左)

にじり・んじり (右)



くんだ (ふくらはぎ)

あどう (かかと)

ひさぬ わた (足裏)

ていーぬ いび
(手の指)

しに (すね)

ひさぬ いーび
(足の指)

けーな (二の腕)

ひじぐる (ひじ)

ていーぬ くび
(手首)

◆身体に関連することば

いち (息)

いち ふつん・いち ちりーん
(息を切らせる)



あい (汗)

あい はやー (汗かき)



みーなだ・なだ (涙) なだ よーはん (涙もろい)

なちぶさー (泣き虫)

なだ ぐるぐるー・みーなだ ぐるぐるー (涙が目にいっぱいたまっ
ている様子)



ちんぺー・しんぺー (唾)

かさぐい (痰)

はな ふつん (いびきをかく) はな ぶちゃー (いびきをかく人)

はっくび (しゃっくり)

はっきー (咳)

くえーやー・ぶーけー

(太っている人・太っている)

よーがらー・やしがらー

(やせている人・やせている)

ふにとぅ かー などーん (痩せてガリガリの様子)



くさみつん・くさみちょーん (怒る・怒っている)

くさみちゃー (怒りんぼ)



さーふーふー (ほろ酔い) いーちゃー・いーちゅ (酔っ払い)

いーている うーんな? (酔っ払っているのか?)

ちゅーばー (強い人) ふどうまぎー (体の大きい人)

うふやっさん・えーんだーはん・しむずらはん (優しい)

うとうるはん (怖い) しかー・しかむん (恐がり)

すらはん (美しい) すらかーぎー (美人)

4, お祝いや行事等で使えるしまくとうば

乾杯、結婚式、祝賀会等の祝福、お悔やみ

◆お祝いのことば

- ・きょうは、ご案内をいただきありがとうございます。

すーや あんねー ひちとうらち にへー やいえーん
どー。

- ・皆で健康を願って嘉例つけましょう。それでは、嘉例。

ぶるし からた にんぐわん にがやーい かリーちき
らな。あんへー、かりー。

※からた にんぐわん = 健康祈願。「体念願」の意。

- ・さあー、歌・三線がはじまるよ。賑やかせなさい。

とー、うた さんしんぬ はじまゆんどー。はねーか
へー。

- ・ひと言、挨拶を申し上げます。

つくとうば、えーさち うんぬき やびら。



- ・こんなにお祝いしてもらって、うれしかったよ。

かんし すーじ ひちとうらち、いっそーは一たん。

結納(さきむい)／結婚適齢期(とうしぐる)／結婚(にー
びち)／盛大な結婚式(まぎ にーびち)／指輪(いー
びなぎー・いーびがにー)／お祝い(すーじ・ぐすー
じ)／大きな祝い事(まぎ すーじ・うふ すーじ)

◆「おめでとうございます」を表現することば

- ・本人に対して(「喜びですね」「嬉しいです」の意)

いーるきはんやー。

- ・親に対して(「安心ですね」「良かったですね」の意)

ゆるっとう なよーちゃんやー。

- ・あなたがチャンピオンになったのは、親戚の誇りだよ。

っやーが チャンピオン なたせー、いーかんちゃー
ぬ のーが やさ。

※のーが = 誇り、名誉。「冥加」の意。

※いがん・いがもー = あなた(年上に対して)

※っやー = あなた(年下に対して)

- ・お前が試験に合格したのは、私たちの誇りだよ。

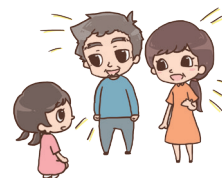
っやーが 試験に とうーたせー、わったーぬ のーが
やさ。

- ・高校に合格して、おめでとう(安心だね・喜びだね)。

こーこーんかい とうーてい、ゆるっとう やさ(ゆる
くび やさ)。

- ・きょうは、うれしかったよね。

すーや、いっそーは一たんやー。



- ・赤ちゃんが産まれたんだってね。おめでとう。

あかんぐわ んまりたんでいやー。ゆるっとう などーさ。

◆行事の際に使うことば

・清明祭（しーみー）

ご先祖様、子や孫が揃って清明に来ましたよ。

はーふじーぬ めー、^づくわ ^づんまが すりてい しー
みー うさぎーが きちょーいえーんどー。

ご先祖様に、手を合わせましょうね。

はーふじーんかい、うーとーとう はやー。



・七夕（たなばた）

お墓の掃除に参りました。

はかぬ そーじ しーが きちょーいえーんどー。

お盆のときには、みんな揃って家にいらしてください。

しちぐわちねー、んな（ぶる） すりてい やーんかい
^づわーよーりよー。

※宮城島では、昔は「洗骨」のことを「**たなばた**」と言っていました。
海中道路ができる前の1960年代までは、洗骨の風習があったと
のことです。他の地域のように、墓掃除を七夕の日に行う風習はな
いとの事で、旧盆前、各家庭の都合の良い日に墓掃除をします。

・旧盆（しちぐわち）

（旧盆の）お迎えをしましょう。

（しちぐわち）うんけー さびら。

（仏壇の）お供え物をお召し上がりください。

うさぎむん うきとういみそーり（うきとうよーり）。

（仏壇の）お供え物をいただきます。

うさぎむん うさんでー さびら。

ご先祖様をお見送りしましょう。

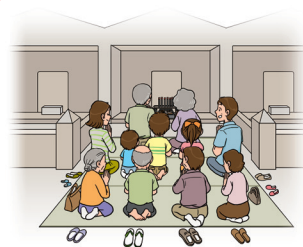
はーふじー うーくい さびら。

来年もいらっしゃってください。

やいん ^づわーよーりよー。

お見送りします。

うーくい さびら。



・お悔やみ・法事に関することば

だび（葬式） だびじん（喪服） ぼーじ（坊さん）

葬儀の後の七日ごとの法事

はちなんか＝初七日・たなんか＝二七日・しんじゅー

くにち（しじゅーくにち）＝四十九日

すーこー・にんちすーこー（法事・年忌の法要）

なーちゃみー（葬儀の翌日に墓参りすること）

・どこが悪かったの？

まーのー わっさーたが？

・気を強くお持ち下さい。

いじや つーく むちょーりよー。



5, 拝みのときに使うしまくとうば

火の神や屋敷拝み、トートーメーなど

◆祈願することば

※うーとーとう = 神や祖先を拝むときに発することば。

※ひぬかん = 火の神：台所に祀られている。

※うぐわん ぶすく = 神や祖先への祈願や儀式などが、十分にされていないこと。

※ふるぬ かみ = トイレの神様。

・良い正月です。今年も健康であらせてください。

いいー しょーぐわち やいえーん。くとうしん(くんどう
ん) がんじゅー しみてい とうらそーり (うたびみ
そーり)。

・今年も (よろしく) お願いします。見守ってください。

くとうしん うにげー さびら。みーまんてい とうら
そーり (うたびみそーり)。

・清明祭のとき、お墓で祈願することば

ご先祖様、家族そろって清明に参りました。ご馳走を
用意してきました。お受け取りください。

はーふじーぬ めー、やーにんず すりてい しーみー
うさぎーが ちゃーびたん。くわっちー しこーてい
ちゃーびたん。うきとういみそーり。

・屋敷の御願 (やしちぬ うぐわん)

きょうは屋敷の御願を捧げましたよ。見守ってください。

すーや やしちぬ うぐわん うさぎやびたん。みー
まんてい とうらそーり (とうらしみそーり)。

◆まじないことば

・魂を込めるまじないことば

魂が抜けているので、魂込めをしないとイケないよ。

なぶい ぬぎとーしが、なぶやーぐみ はんだれー
ならんどー。

もっと、魂込めをしないとイケないよ。

なーひん、なぶいぐみ はんだれー ならんどー。

魂よ魂、追いかけてきなさい。家に来たら魚もご飯も
食べさせるよ。

なぶやー なぶやー、うーてい くーよー。やーんかい
くれー づゆーん めーん かますんどー。

・夜に、赤ちゃんを連れて外へ出るときには、指に唾を
付けて赤ちゃんの眉間を撫でながら、次のようなまじ
ないことばを使った。

お母さん以外は、誰も見てはいけないよ (見るなよ)。

あんまーゆか ふかー、たーん んずなきよー (んだ
んどー)。



6, 病院での会話

◆診察のときの受け答え 1

- ・お元気ですか？

かなとーんな？（がんずーいえーんな？・げんきいえーんな？）

⇒元気ですよ。

かなとーんどー。

⇒気分が悪い（少し気分が悪い）。

あんまはん（いひぐわー あんまはん）。

- ・夜はよく眠れましたか？

ゆるー ゆー にんだリーたんな？

⇒よく眠れましたよ（眠ったよ）。

ゆー にんだリーたんどー（にんたんどー）。

⇒眠れませんでした。

にんだらんたん。

きぶのー
ちゃー やいえーが？

- ・昨晚は、よく眠れましたか？

ゆーべー、ゆー にんだリーていな？

- ・きょうのご気分はいかがですか？

すーぬ きぶのー ちゃー やいえーが？

⇒きょうは良い気分ですよ。

すーや いー くくち（あんべー）いえーんどー。



⇒きょうはあんまり良い気分ではない。

すーや あんすかー（なんぞー） いー きぶのー
あらん。

- ・気分が悪いところはありませんか？

きぶんぬ わっさる とうくろー ねーよーらんな？

⇒気分が悪いです。

あんまはんでー。

- ・いつもと変わった様子はありませんか？

ひーじーとう かわとーるくとー ねーよーらんな？

⇒どうもないです。

ちゃーん ねーびらん（ねーよーらん）。

- ・どこか具合の悪いところはありませんか？

まーやていん わっさる とうくろー ねーよーらんな？

⇒少し頭が痛いです。

いひぐわー ちぶるぬ やむん。

- ・どこか痛いところはありませんか？

まーやていん やむる とうくろー ねーよーらんな？

⇒どこも痛くないです（痛くないよ）。

まーん やまびらん（やまんさ）。

- ・どこが痛いですか？（痛いの？）

まーのー やめーが？（やむが？）



・どのように痛みますか？（痛むの？）

いちゃーし やめーが？（やむが？）

⇒とても痛いです（痛いよ）。

じこー やめーん（やむは）。

⇒そうでもありません（そうでもない）。

あえー あよーらん（あらん）。

ぬーん あいびらん。

・どうしましたか？（どうしたの？）

いちゃー さびたが？（ひちやが？）

・大丈夫ですか？（大丈夫？）

いちゃーん ねーよーらん？（ねーんな？）

⇒何でもありません（大丈夫です）。

ぬーん あいびらん。

・少し痛いかもしれませんが、一緒に頑張りましょう。

いひぐわー やめーしが、まずーん（まんざーい）

ちばよーらやー。

・少し痛いけど、一緒に頑張りよう。

くーてーのー やむしが、まずーん ちばらやー。

・かゆいところはどこですか？

こーはる とうくろー まー やいえーが？（目上に対して）

・かゆいのはどこ？

こーはーしえー まーやが？（同年や目下に対して）



⇒頭がかゆい。

ちぶるぬ こーはん。

・足がしびれている。

ひさぬ くるどーん。

⇒少ししびれている。

いひぐわー（くーてんぐわー） くるどーん。

・痛みをあらわすことば

だるやみ（鈍い痛み）

じこー やむん（強く痛む・とても痛い）

※あちはん＝暑い ※ひーはん＝寒い

◆診察のときの受け答え 2

・検温をするので、少し（一時）ベッドで休んでいてください。

にち はかゆくとう、くーてーん（いっとうち） ベツ
どんかい（でい） ゆくよーりば。

・着ている服を着替えてください（着替えなさい）。

しちょーる しーのー けーよーりば（しん けーれー）。

・危ないですよ。

うくわーはんどー（あぶなはんどー）。

・顔を洗ってください（顔、洗いなさい）。

しら あらよーりば（しら、あらり）。



じこー やむん。



- ・どのような食べ物が好きですか？

ちゃんねーる かみむんぬ しちやいえーが？

- ・毎日、食事は美味しく召し上がっていますか？

めーにち、むのー まーく あごーちょーんな？

- ・毎日の楽しみは何ですか？（何？）

めーにちぬ たぬしめー ぬー やいえーが？（ぬー やが？）

ぬー やいえーが？

⇒テレビを観るのが楽しみです。

テレビ んじゅしが たぬしみえーん。



- ・何をして一日を過ごして（暮らして）いる？

ぬー ひち いちにち くらちょーが？

- ・何か心配事はないですか？（ない？）

ぬーやていん しわぐとー ねーよーらんな？（ねーんな？）

- ・早く元気になってくださいね。

へーく がんじゅー（げんき） なよーりよー。

- ・歩かないと、元気になりませんよ。

あっかんだれー、がんじゅー なよーらんどー。

あっかんだれー、げんき ならんどー。

- ・トイレに行ってきたのですか？（行ったの？）

べんじょんかいある いじ づわーちな？（いじ きちな？）

- ・おしっこを我慢していませんか？（我慢してない？）

しーばい にじてー ねーよーらんな？（にじてーねーんな？）

- ・トイレに行きたいのなら、遠慮せずに言ってくださいね。

べんじょんかい いちぶさーれー、えんりよはんぐとう あん いよーりよー。

- ・今日はよく頑張りましたね。

ずーや じこー（ゆー） ちばよーちゃんやー（ちばよーたんやー）。

- ・お元気で。

がんじゅー そーりよー。（目上の人に対して）

がんじゅー しよー（かなとーきよー）。（同年や目下に）

⇒ありがとうございます。お世話になりました。

にへー やいえーたんどー。 やっけー かきやびたん。

⇒うん、あなたも頑張ってね。

おー、づわーむん がんばりよー（ちばりよー）。

にへー やいえーたんどー。





7, その他

日常でよく使うしまくとうば

◆食事のときに使うことば

- ここに置きますね。

くまんかい うちょーらいー。

- どのような食べ物が美味しい（好き）ですか？

いちゃるー かみむのー まーはいえーが？（しち や
いえーが？）

※まーはん = 美味しい ※しち = 好き

- たくさん食べてくださいね（食べなさい）。

おほーく あごーりば（かめー・かみよー）。

- 召し上がりましたか？

あごーちな？（あごーよーちな？）（「よ」を使うと、更に
丁寧な言い方になる。）

- 食べた？（目下の人に対して）

かていな？

まーはん！

- お召し上がりください。

あごーりば（あごーよーりば）。

- 何が好きですか？（好きなの？）

ぬーのー しち やいえーが？

ぬーのー しち やが？



- 何が嫌いですか？（嫌いかな？）

ぬーのー しちょーらんが？

ぬーのー しかんが？

- このお菓子、召し上がってください。

くぬ くわーし、あごーりば。

◆食味をあらわすことば

あははん（薄い味）

あじ じゅーはん（濃い味）

からはん・まーす ずーはん（辛い・塩辛い）

かたさー・かたぢゃー（濃いお茶）

んざはん（苦い）

◆問かけのことば

- 困ったことはないですか？

くまとーる くとー ねーんな？

しわ ぐとー ねーんな？

まーんかい いざが？

- どこへいらっしゃったんですか？

まーんかい づわーよーちやが？

- どこへ行ったの？

まーんかい いざが？

- 宮城島の言葉を教えてください。

はなりじまぬ くとぅば ならーち とうらそーり。



- ・何でも聞いてください（聞いて）。

ぬー やていん しちくいよーり。（丁寧な言い方）

ぬー やていん しきよー。（同年や目下に対して）

- ・出身はどこですか？

んまりじまー まー やいえーが？

- ・出身はどこなの？

んまりじまー まーやが？

⇒出身は宮城です。

んまれー なーぐすく やいえーん。

⇒出身は宮城だよ。

んまれー なーぐすく やさ。

- ・趣味は何ですか（何が好きですか？）

ぬーぬ しち やいえーが？

⇒私は花づくりが大好きです。

わのー はなづくりぬ しち やいえーん。

- ・お疲れではないですか？

ゐいたてー ねーよーらん？

- ・疲れてない？

ゐいたてー ねーんな？

- ・明日もよろしくお願いします。

あちゃん うにげー そーら（さびら）。



- ・お先に失礼します。

はちに ぐぶりー さびら（そーら）。（丁寧な言い方）

- ・先になるよ。

はち なゆんどー。（同年や目下に対して）

- ・それでは、また来ます（来るよ）。

あんせー、また ちゃーびーんどー（すーんどー）。

- ・ごめんください。

ちゃーびらさい。

ちゃーびらさい。

- ・太郎はいますか？

たろーや うーやびーんな？

- ・太郎はいる？

たろーや うーんな？

うーやびーんな？

- ・太郎はいるかな？

たろーや うーがやー？

- ・用事があったて来たけど。

ゆーずぬ あーている きちゃしが。

- ・いらっしゃい（来なさい）。

ゝわーよーり（くーば）。

- ・気をつけてお帰りください（帰りなさい）。

きー ちきてい けーよーりば。

きー ちきてい けーりよー。





沖縄中南部／宮城島

- ・「くわっちー かてい ゆだん すな」(ご馳走にありついても油断するな)。「裕福な状況になっても、いつ困った状況に陥るか分からないので、油断してはいけない」との戒めの意味で使われる。
- ・「やーはる くんぞー」(お腹がすくと根性が悪くなる)「腹が減っては戦ができない」と同じように、腹がすいた状態だと正しい判断や行動ができないので、しっかり食事を摂ることが肝要だとの意味で使われる。
- ・「じん くいらゆかー たまし くいり」(お金をくれる〈大金〉より魂〈精神〉が大切)。「どんなにお金があっても、その人の性格が悪いと、家族や友人にも迷惑をかけることになるので、心根が大切との戒めの意味で使われる。
- ・「かーぎや かーる やる」(姿・形は皮である)。「人は見た目より中身が大切で、美しく着飾るより心根を正しく持つことの方が大切だ」との意味で使われる。
- ・「やんめーゆか ふかー まぎまぎーとう」(病気以外は大きい方がよい)健康の大切さを説く意味で、病気以外の物は全て大きい方がよい、の意味。

- ・「どうーぬ いーぬ へーや うーいーうーはん」(身の上の蠅は追っ払えない)。「自分の悪いところは棚に上げて、人の悪口を言ったり、人をおとしめたりすることは謹みなさい」との戒めの意味で使われる。まずは、自分の行いを正した上で、人の行いを注意すべきである。
- ・「かたていーせー うとうや づんじらん」(片手では音は出せない)。「夫婦に例えられることわざで、夫婦二人の気持ちを合わせないと立派な家庭は築けない」との意味で使われる。ひとりだけでは何もできない、協力し合うことが大切だとの教訓として使われる。
- ・「しきんや(しきのー) みー いー」(世間の目は上)。ここでいう「みー いー」とは、「物事を見抜く力が優れている」ということで、人の真価は世間(世の中、地域の人)が良く分かっているとの意味で使われている。地域(世の中)の人を、「みー いー」と思うことで、常に謙虚であることの大切さを説いている。自分が何でも知っている、うぬぼれたり自慢したりしてはいけないとの教訓。





9, タクシー運転手との会話

◆宮城島でタクシーに乗る

- ・タクシーは来ないね。

タクシーや くーんでーやー。

- ・タクシーが来るよ。

タクシーぬ すーんどー。

- ・どちらまで行きますか？

まーまでい っわーゆが？

- ・(うるま市) 役所まで行ってください。

やくばまでい いじ とうらへー。

- ・どの道から行けばよいですか？

まーぬ みちから いけー しめーが？

- ・国道から行ってください(行く方がよいです)。

こくどーから いじ とうらへー (いつしが ましや
さ)。

- ・どこから行くのかは、あなた(運転手)に任せます。

まーから いじ しむが、っやーんかい まかすさ。

- ・ここを曲がってください。

んま まがてい とうらへー。



- ・そこを、右(左)に曲がってちょうだい。

とー んま、にじりんかい まがてい とうらし。

とー んま、ひざいんかい まがてい とうらし。

- ・ここで止めてください。

くまうてい とうみてい くいよーり (とうらへー)。

- ・ここでいいです。

くまうてい しまびーは。

- ・お幾らですか(幾ら)？

いくさーいえーが？

ちゃっさーやが？

※ちゃっさが？=幾ら？

- ・ちょうど千円になります。

ちょーどう せんえん ないびーん。

- ・ありがとうございました。また利用してくださいね。

にへー やいびーたん。また ちかてい くいよーりよ。





沖縄県の様子（**うちなーぬ** **しがた**）

・沖縄県は日本で唯一、亜熱帯地域に属し、一年を通して温暖な気候で、暮らしやすい地域となっています。

青く広がる海は、色鮮やかな熱帯魚やサンゴなどの生き物たちがたくさんいます。

そして、沖縄島のヤンバルや離島に残る森林では、日本や世界でもめずらしい植物や動物が生息しています。

また、鮮やかに咲き誇る花や緑豊かな樹木からは、力強い生命力を感じます。



・うちなーや 日本³うてい ただ ちゅとうくる、亜熱帯地域んかい いっち、いちにんじゅー ぬくはる 気候 なてい、くらしやっさる とうち などーいえん。おーるーっし ひるがとーる うみや、いる すらはる ³ゆーや、さんごとうかぬ いちむしたーぬ まんどーいえん。

あんし、うちなーぬ やんばるとうか はなりじまんかい ぬくとーる むい なかえー、日本とうか 世界³うていん みじらーはる きーくさとうか いちむしが しどーいえん。また、すらーく さちよーる はなや おーてーん ひちよーる きーからー、ちからぢゅーはる ぬちぢゅーは かんじ やいえん。



●宮城島の特徴（みやぎしまぬ いーとうくる）

- ・宮城島は、沖縄本島中部の勝連半島の北東に位置する人口約600人の島です。平安座島と伊計島の間にあり、自然豊かな島です。高離島とも呼ばれていて、島の人のことをハナリンチュと言います。

桃原・上原・宮城・池味の4つの集落があり、やさしく心の広い島の人たちです。

- ・みやぎしまや、うちなーほんどー なかぐるぬ 勝連半島ぬ にしあがりんかい あえーる、人口や てーげー 600人ぬ しま やいえーん。平安座島とう いきんしまぬ あいだんかい あてい、自然豊かな しま やいえーん。たかはなりじまんていん いらってい、しまんちゅぬ くとうや はなりんちゅんでい いらっとーいえーん。

とーばる・いーばる・なーぐすく・いちみぬ ゆーちぬ むらぬ あてい、うとうなはぬ ちむぐくるぬ すらはーる しまんちゅ やいえーん。



●観光案内

- ・宮城島のいろいろな場所をご案内しましょう。

宮城島ぬ あまくま ぐあんねー さびら。

- ・「高離節」歌碑（「たかはなりぶし」かひ）

宮城島の上原シヌグ堂に建立された歌碑です。作者は近世琉球の和文学者として有名な、平敷屋朝敏の妻の作だと伝えられています。

「高離島や 物知らせどころ にゃ物知やべたん 渡ちたばうれ」。歌の意味は、「高離島は寂しい所、苦しいことも悪かったこともわかったので、（故郷に）帰してください」です。

宮城島ぬ いーばる しぬぐどーんかい たっちょーる うたぬ ひむん やいえーん。うた ゆだる づちゅや 近世 リゅーちゅーぬ 和文学者とうしち なーぬ しらっとーる、ひしちゃ ちょーびんぬ とうじぬ つくたんでい いらっとーいえーん。

「たかはなりじまや むぬしらしどうくる なっ むぬし やびたん わたちたぼり」。うたぬ いみや、「たかはなりじまや さびはる とうくる、くちはるくとぅん わっさーたるくとぅん わかやびたん。（んまりじまんかい）わたち くいよーり」、やいえーん。

・ヤンガー (やんがー)

ヤンガーは、宮城島で一番大きな井泉で、上原集落にあります。カーのたたずまいや周辺の石垣が見事で、貴重な文化財です。

昔は集落の人々にとっては、飲み水としてだけではなく、赤子が生まれた時の産水としても使用されました。現在でも元日の朝、門中の人たちが集まって「ウビナディー」をします。

やんがーや、宮城島うてい いちばん まぎはるかー なてい、いーばるむらんかい あえーん。かーぬうちかいとう すばひらぬ いしがちぬ みぐとうなてい、てーしちな 文化財 やいえーん。
んかしや むらぬ ちゅぬ ぬみみじ びけーのー あらな、あかんぐわぬ んまりーねー うぶみじとうひちん ちかよーちゃん。なまやていん ぐわんたんぬあさ、むんちゅーぬ ちゅぬちゃーが あちまてい「うびなていー」 ひちょーいえーん。

※「ウビナディー」 宮城島に伝わる門中行事です。ゆかりのあるカー(井泉)で、祭祀用具のビンシーを通して水の恩に感謝し、親族の健康や門中の繁栄を祈願します。集まった人は、カーの水を指で額に付けたり、カーの水に浸した米(はなぐみ)を各自数個、「ウートー トゥ」と言いながら頭の上に置きます。「ウビー」ともいいます。

・宮城ウシデーク (なーぐすく うしてーく)

宮城ウシデークは、およそ300年前から伝わっている、女性だけで踊られる民俗芸能です。円陣または、いくつかの列になって踊ります。今でも、旧暦の8月15日の「ジシチ」に、集落の繁栄を祈願して、根屋や神屋の神の前で踊られる奉納舞踊です。(うるま市指定文化財)

なーぐすく うしてーくや、てーげー 300にん めーから ちたわとーる、いいなぐ びけーし うどうらりーる 民俗芸能 やいえーん。まるくなたい また、れつつくたいひち うどういえーん。なまやていん、きゅーぬはちぐわち じゅーぐにちぬ 「じしち」 んかい、むらぬさけーにがてい、にーやーや かみやーぬ かみぬ めーうてい うどうらりーる 奉納舞踊 やいえーん。



語ろう 使おう しまくとぅば
『かたらな ちからな しまくとぅば』
はなりくとぅば（宮城島ことば）

発行 日：2021（令和3）年3月27日
監修：中本謙（琉球大学教育学部教授）
宮城くとぅば話者：根保幸徳
音声話者：大屋良英（字上原）、大屋芳夫（字上原）
豊永栄子（字宮城）
発行 行：沖縄県文化観光スポーツ部 文化振興課
〒900-8570
沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号
編集・制作：沖縄県文化協会 しまくとぅば普及センター
（校閲）センター長 波照間永吉
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2
番2号文化振興課内
制作・印刷：合資会社 沖縄時事出版
代表 名幸諄子
編集責任 呉屋栄治
〒900-0025 那覇市壺川1-3-10
TEL 098-854-1622（編集部）
原稿執筆・構成：宮城一春

【写真提供】

「宮城島風景」「宮城ウシデーク」（根保幸徳）
「海中公園」「やんばる国立公園」（沖縄観光コンベンション
ビューロー）

